

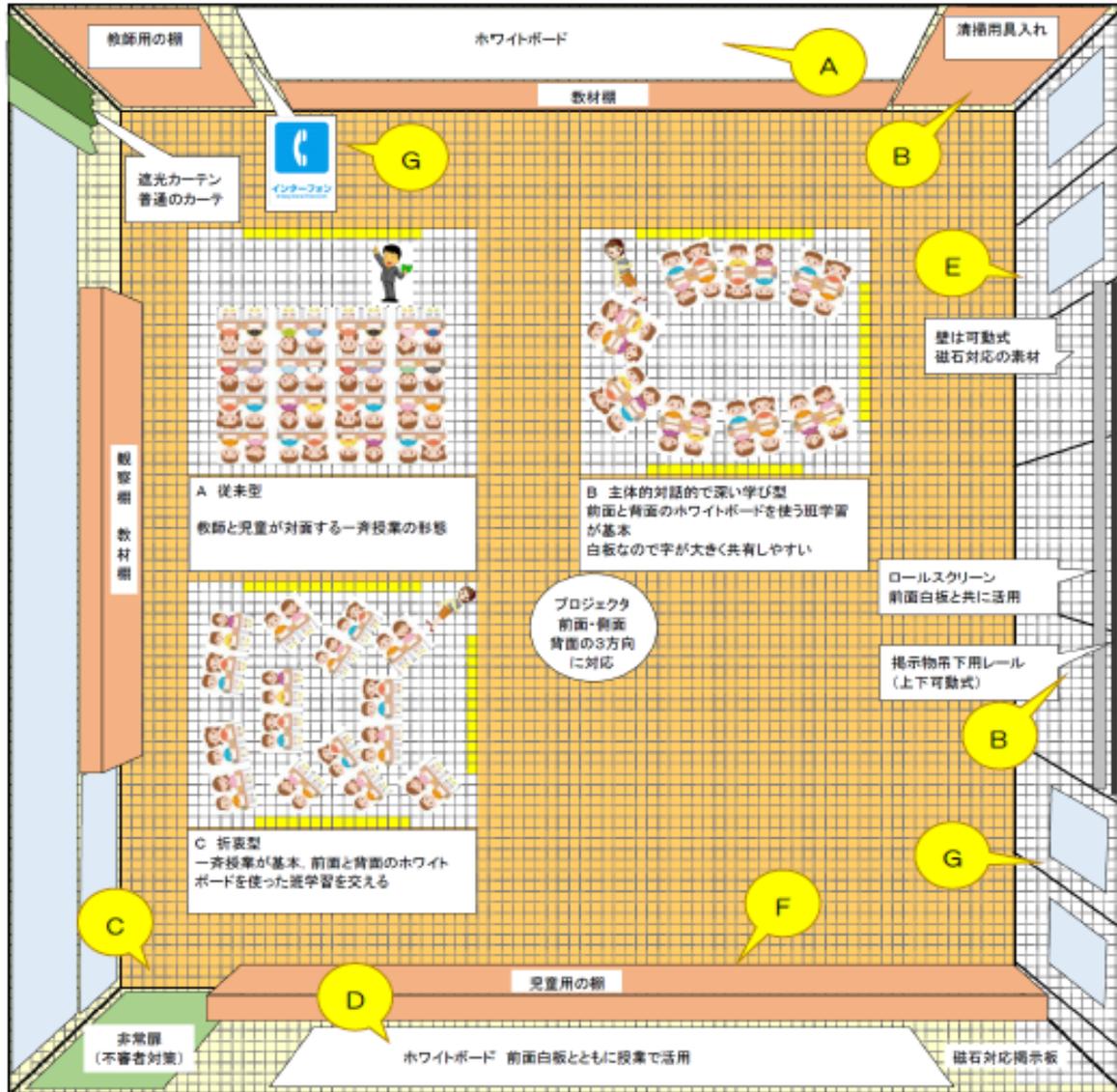
『主体的・対話的で深い学び型の学習』 ～ 新しい教室での学習スタイル ～



三面ホワイトボード活用例

三面ホワイトボードで

学び合いのできる子を育てる



この教室で
学び合いのできる子が
育ちます

- ① ICT
- ② アクティブラーニング
- ③ ユニバーサルデザイン



- (1) 子どもが変わる
- A 学びへの興味・関心 プロジェクター、UD スライダー付大型ホワイトボード
 - B 学びの集中力 スッキリ収納、掲示物の精選、大型ロッカー
 - C 学びの質の向上 UD スライダー付大型ホワイトボード、隣教室との扉
 - D 集団 ⇄ 個の学びの組み合わせ タブレット機器、無線 AP、側面背面ホワイトボード
 - E 特別支援への対応 スッキリ収納、バリアフリー
 - F 体験の重視 大型ロッカー
 - G 安全・安心 開放可能な建具、パニックブザー、校内インターフォン
- (2) 教師が変わる
- ・授業改善・指導力向上 UD スライダー付大型ホワイトボード
 - ・授業準備の効率化 プロジェクター、UD スライダー付大型ホワイトボード
 - ・学びの個別化 タブレット機器、無線 AP
 - ・学びの記録・客観的評価 タブレット機器、無線 AP、電子情報の保存
 - ・環境整備 スッキリ収納、掲示用補助木枠

教室でできない学びはメディアセンターで

①活動に応じて、席の隊形を変えたり教室を移動したりする
主体的な学習

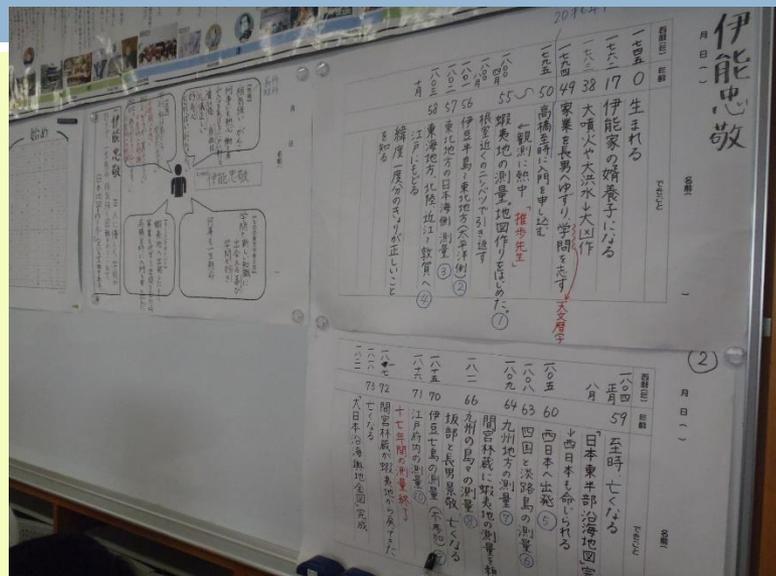
②自由に話し合ったり、説明しあったりする
対話的な学習

③集団⇄個の学習を組み合わせることにつながる
深い学び

～ホワイトボードをどう使う？一例を紹介～

前面

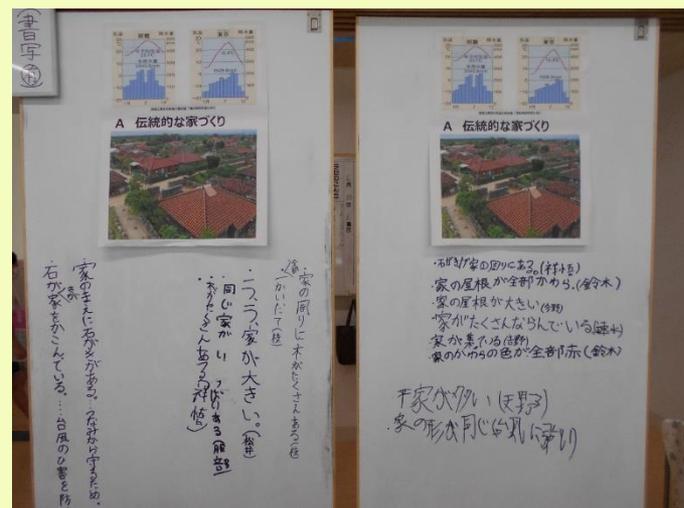
授業の過程を整理する場



側面：背面

子供たちの考えを交流する場

情報を共有する場



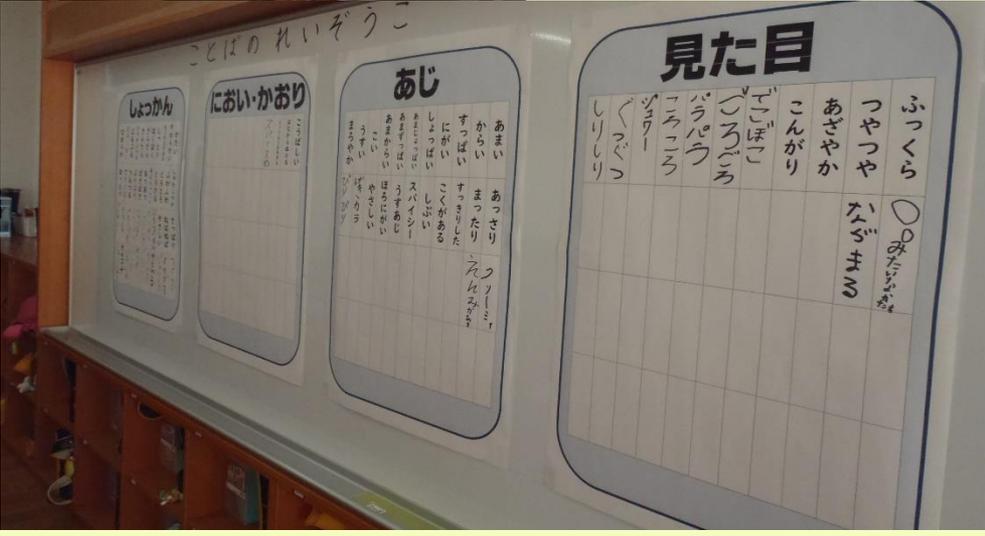
～ホワイトボードの活用の仕方～

小(国・算・理・社)

自分の発見が
みんなの気づきに

言葉を広げて
積み重ねる

ヒントや事例の紹介
児童への手立て



見たい目	
ふっくら	○みだらな
つやつや	みずみず
あざやか	
こんがり	
こげこげ	
パリパリ	
ころころ	
ジューシー	
しりしり	

～ホワイトボードの活用の仕方～

小(国・算・理・社)

13. ひきざん **けいさんのしかたを**
せつめいしよう

(P.70) ふくしゃう(まえや、たやつ)

(P.71) 13-9のけいさんのしかた

ひきたす さくせん **ひきひき さくせん**

(P.79) 14-8のけいさんのしかた **て、できた!!**

14-8=6 こわがめしたん 14-8=6 と、10からひくだけ

① ④+2=6 **② ④+4=4**

(P.80) 12-3のけいさんのしかた。 **10のまわり!**

(P.82) 16-7 **① ② 10のまわり!**

けいさんをしましう

(P.83) けいさんカード ひきざん

(P.85) たしかめよう

● ジェストドリル → テスト
 ドリル

① 13を **10** と **3** にわけます

② 10から 9を ひきます

③ **1** たす 3で **4** です。

ひきたす さくせん

13-9=4 13-9=4 13-9=4

④ 10からいっきにひけるから、らく。

⑤ さいごのたしざんがかんたんだから。

⑥ かんたんにできるから。

13-9=4 13-9=4

① 13を **10** と **3** にわけます

② 9を **3** と **6** にわけます

③ 3ひく3は、0です。

④ 10ひく6で4です

ひきひき さくせん

13-9=4 13-9=4

⑦ ひくの式がかんたんだから。

⑧ ひいてひいたあとのこの式をたえだか

⑨ 3-3=0 **⑩ 3-3=0**

13-9=4 **⑪ 3-3=0**

自分の考えが
 みんなの学びに

思考しながら
 書く



～ホワイトボードの活用の仕方～

小(国・算・理・社)

事故や事件からくらしを守る

- ① あぶない場所
- ② けいさつの仕事
- ③ 安全なまちづくり
- ④ 事故や事件がおきたら...
- ⑤ 地いきの人の取り組み
- ⑥ 事故をふせぐために

じしゃくのふしぎ

- ① 身の回りの物とじしゃく
- ② 引きつけられる物、引きつけられない物
- ③ じしゃくと鉄のきより
- ④ じしゃくどうしを近づけると
- ⑤ わくわく、サイエンス☆
- ⑥ じしゃくになる鉄
- ⑦ さ鉄あつめ
- ⑧ たしかめよう

単元を見通す 作品や歴史を大きく見とる

いつ	早春	夏	八月十六日	おぼん(八月十五日)	また秋	冬	また八月
てんてんと	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく
そのときの様子	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく	川にぶくぶく

学びの足跡・蓄積

詩を楽しもう

文の組み立て ①

文の組み立て ②

漢字の組み立て ①

漢字の組み立て ②

二年生で学んだ漢字

□を使った場面を式に表そう。

- ① □を使ったみよう
- ② 場面を式に表そう
- ③ □を使った式からお話をつくらう
- ④ たしかめよう

聖徳太子が行ったこと

- ① 大陸の進んだ制度や文化を取り入れ、国を強くした。小野妹子
- ② 法隆寺を建て、半木口(半木口)を建てた。仏教を広めた。
- ③ 十七条の憲法(十七条の憲法)を制定し、人の心を導いた。
- ④ 皇位(天皇の位)を継承した。大化の改新(大化の改新)。

① 天皇の支那(中国)を強くする

② 中国にならなれたこと

翻(か)りかへて、漢(かん)字(じ)を学(ま)んだ。

聖徳太子(せいとくたいし)が、水時計(みづどけい)を造(つく)った。

③ 律令(りつりょう) - 国を治める法律

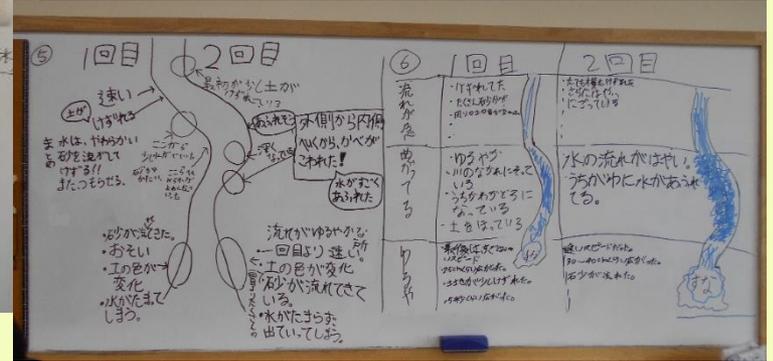
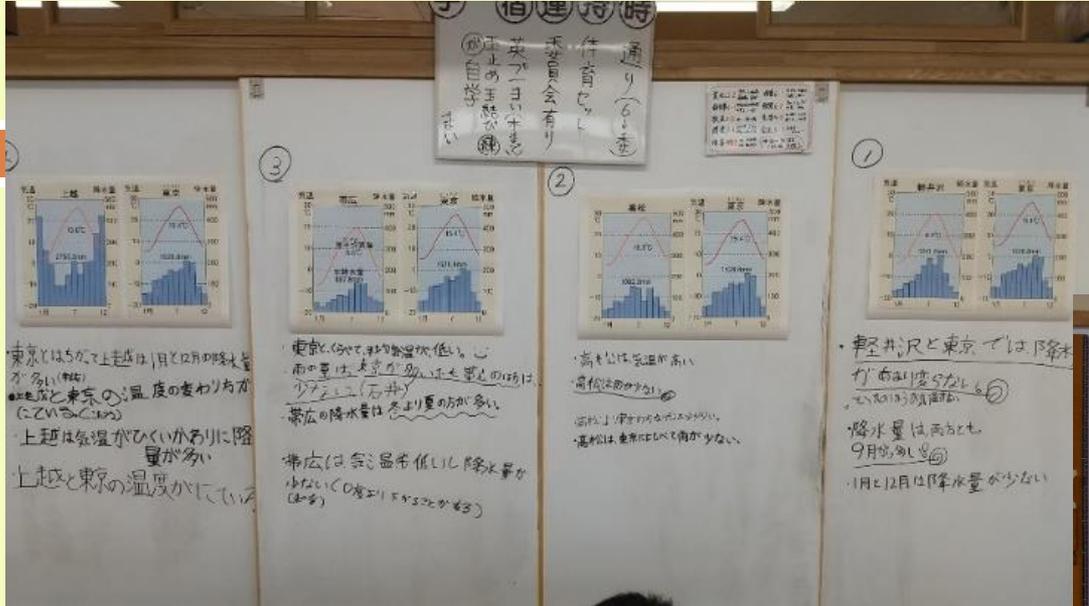
人々は規則(きぎょう)を守(まも)り、国(くに)を治(し)めた。

藤原京(ふじのやま)を建てた。

～ホワイトボードの活用の仕方～

小(国・算・理・社)

実験の検証の場



比較や検討・成果の場

自然災害から人々を守る

自然災害
 ・台風 → 電柱電線 → 電、食料?
 ・地震 → 家の物が落ちる、電車が止まる
 ・津波 → 家が流れる、逃げられない、住む所?

自然災害の自衛方法、行動の取り方

たいく ↑
 自衛
 自衛

地震、津波

風水害 (茂原市)

被害 立てものが水につかる、ひびく

・自動車などが飛ばされる
 ・重機が飛ばされると、屋根が壊れる
 ・川がはらん
 ・道路に水がたまる(10cm)
 ・家が倒れる
 ・家が倒れる

自衛するための準備

